

透析コ口ナ患者対応

2022.2.7

大久保病院 若井幸子

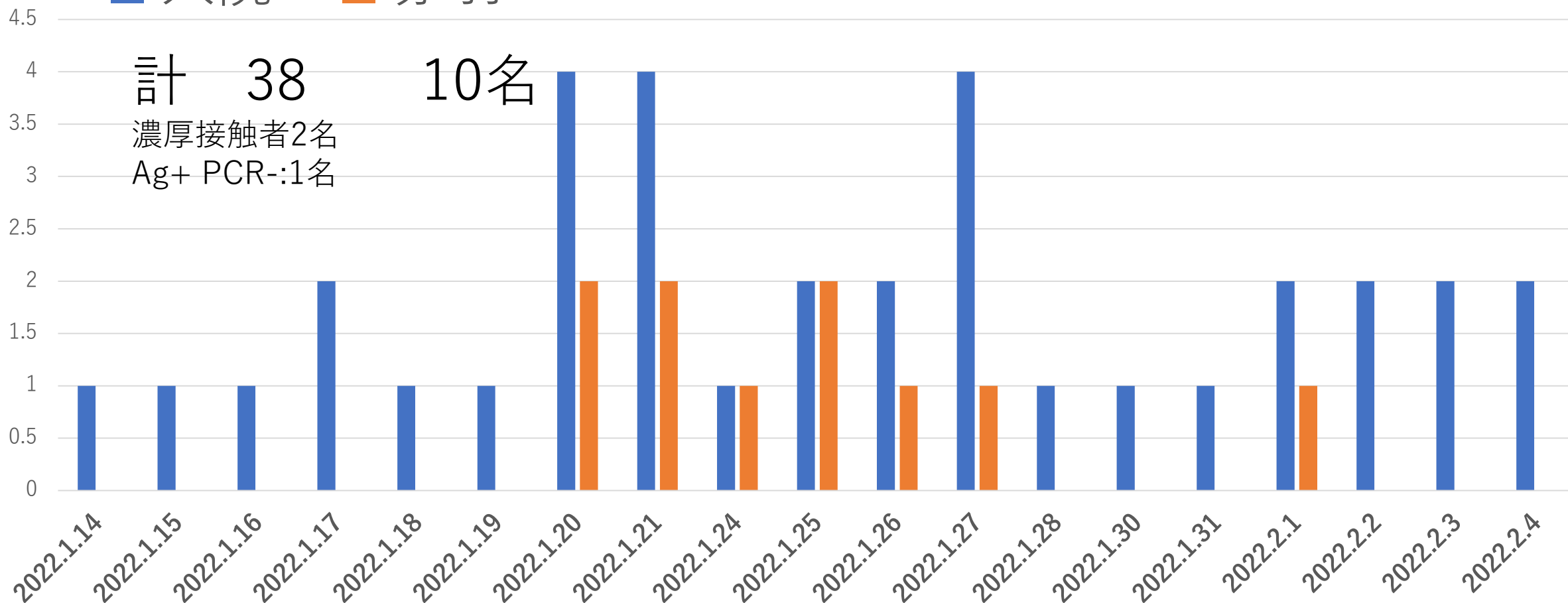
下り施設としての連携

- 2022.1.20開始
 - 事務連絡体制
 - 対象患者 状態が安定しADLが自立している
-
- 2022.1.20-2022.2.1 10名（44－77歳）
 - 40歳代 2名
 - 60歳代 6名
 - 70歳代 2名

入院数と赤羽ステーション下り転送数

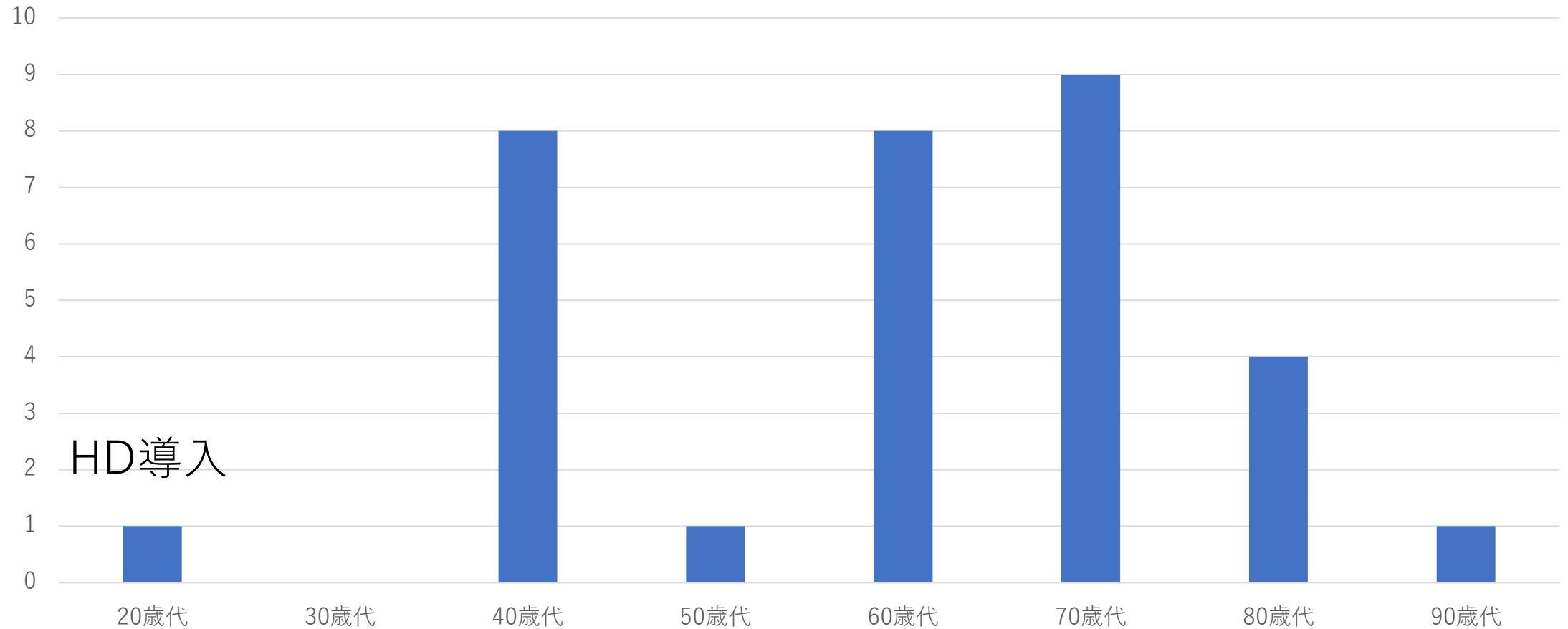
2022.1.14-2022.2.2

■ 入院 ■ 赤羽



2022.1.14-2022.2.5

当院受け入れコロナ患者の年齢



HD導入

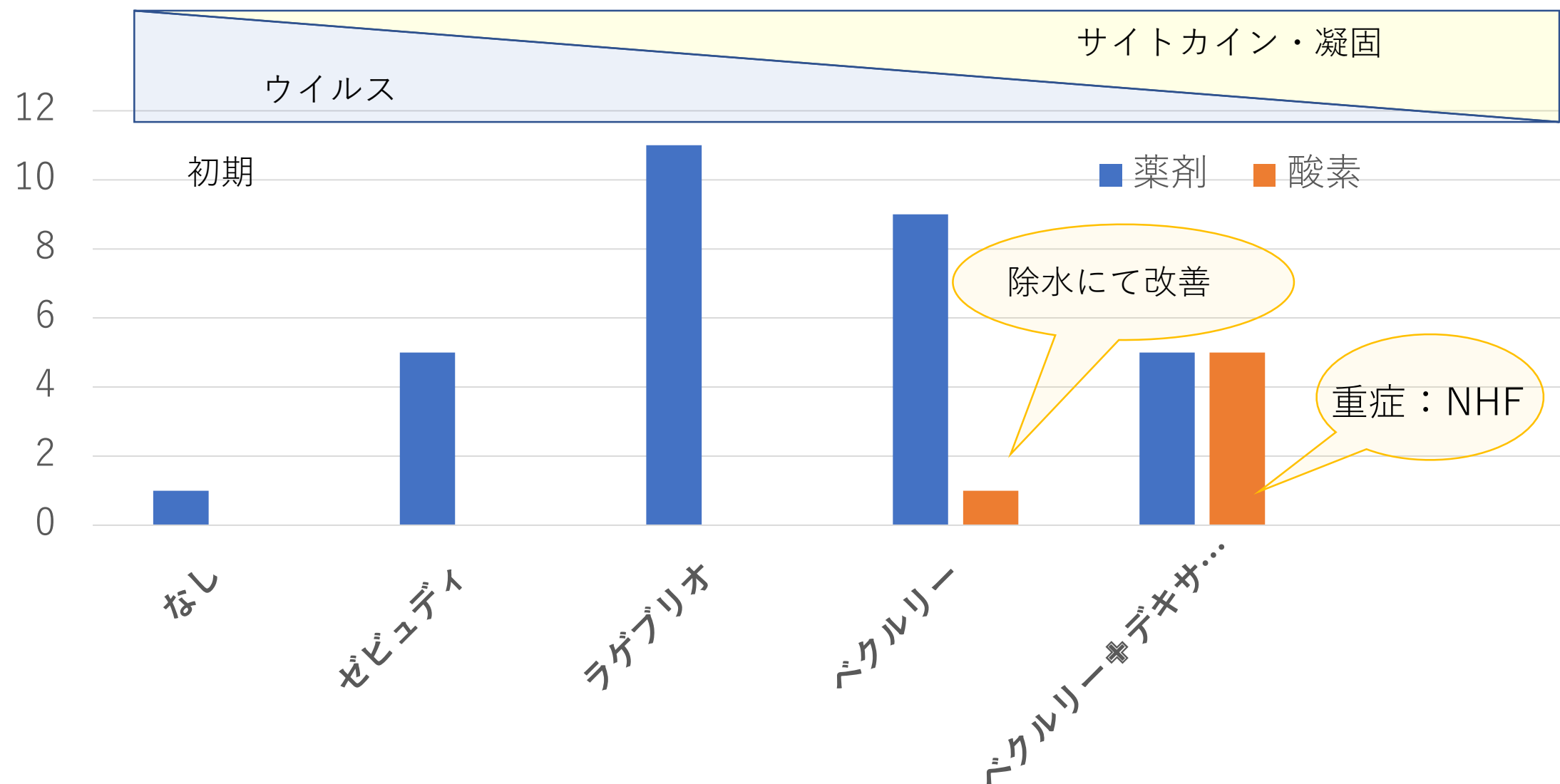
第6波 治療内容

軽症 17

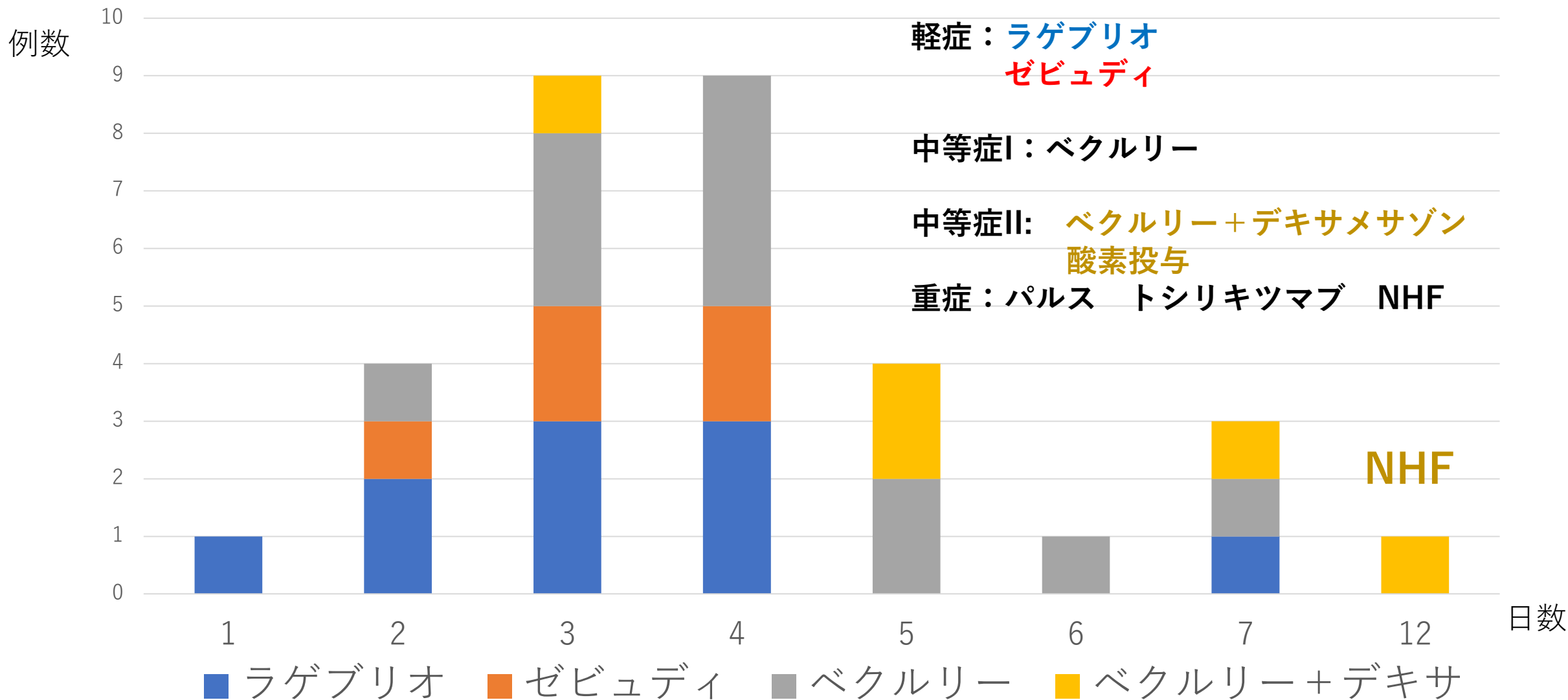
中等症I 9

中等症II 4

重症 1



発症から治療介入までの期間と治療内容



症例 79歳 男性

- 透析歴 7年 原疾患CGN 月水金維持透析
- 2022.1.21 (金) 同居の子供、咽頭痛出現 SARS-CoV-2PCR陽性
- 2022.1.24 (月) 濃厚接触者 SARS-CoV-2PCR陽性
- 2022.1.25 (火) クリニックで透析施行
- 2022.1.26 (水) 発症 発熱、咽頭痛、咳SAT97-99%
- 2022.1.29 (土) クリニックで透析施行
- 2022.1.31 (月) 38.9℃ 呼吸苦
- 2022.2.1 (水) 入院 午後透析

ゼビュディオ
ラゲブリオ

Cr	17.4	WBC	3700
BUN	93.1	Hb	11.4
K	6.2	Plat	9.9
Ca	7	Dダイマー	1.21
P	6.6	CRP	9.02

酸素化不良

東京医科歯科大学病院へ転院



2022.2.1 O2 3L SAT93%

HD
DW59.5 CRT57%

2022.2.1
BW60.3⇒59.2kg

ベクルリ ー200mg
100mg
デキサ 6mg



2022.2.2 O2 10L⇒NHL30L SAT93%

維持透析施設・保健所へお願いしたいこと 透析コロナベッドの有効利用のため

< 確実な診断 >

PCR検査の実施

Ag検査は偽陰性、疑陽性あり；PCR結果判明までコロナ病床でさらに個室隔離
結核検査のガフキーの様なもの、
透析コロナベッドを埋めてしまうのはもったいない

< 入院困難な場合 >

早期の治療介入
十分な透析療法

第6波の入院目的
隔離目的から重症化回避、肺炎治療目的の
フェーズになった

< 発熱外来実施 >。

隔離解除後（できれば下り状態）の速やかな受け入れ

濃厚接触者（ステーションにも入所できない）発症者より隔離が長期

施設間格差が出てきている

コロナ禍となり2年経過

第3波 第5波で透析コロナベッド逼迫

第6波 早期治療薬登場

維持透析施設として透析医学会の基準

診療のガイドライン

透析液・廃液の水質基準

感染症ガイドライン

災害時対応

感染症対応

透析施設としてなすべきこと

施設内の発熱外来マニュアル

施設内コロナ対応マニュアル

患者教育を含めた対応

